

旧石器ハテナ館だより

尖頭器



尖頭器とは、主に旧石器時代に使われた狩猟具です。

旧石器ハテナ館

〔史跡田名向原遺跡
旧石器時代学習館〕

神奈川県相模原市中央区
田名塩田3-23-11
042 777 6371

令和5年12月15日
【第45号】

「くだいて・つぶして・絵をかいて」

～縄文人と岩絵具の世界～ 8月5日(土)

講師 橋本弘安先生 女子美術大学名誉教授



女子美術大学名誉教授の橋本弘安先生による、講座「くだいて・つぶして・絵をかいて」をリモートで開催しました。

小学生から大人まで、様々な年代の参加があり、参加者は18名でした。前半は橋本先生から天然顔料（岩絵具）の歴史や種類、魅力についての話と岩絵具の作り方の説明がありました。

後半は、参加者がそれぞれ気に入った岩石をこまかくすりつぶし、専用の道具を使って岩絵具を作り、うちわに思い思いの絵を描いていきました。花火、空、海、山、魚、金魚などが生き生きと描かれ、人工の色ではなく天然の独特な色合いの作品ができました。



土器焼き

6月の体験教室で制作した土器の野焼きを、8月31日(木)に勝坂遺跡公園の野焼き場で行いました。当日は朝からカラッと晴れて風も強くなく、野焼きには丁度よい日でした。薪を井桁に組んで、その間に土器を置き、更に細かい薪を土器の間や上に置いて、点火しました。火力も強く2時間程で見事に焼き上がりました。

【井桁に木を組んで土器を並べる】



【土器のそばと上に木を入れる】



【土器が焼けました】



月替り体験教室を実施しました

4月 弓矢づくり

弓矢が完成したら、的に向かって試射しました。



8月 拓本ランプシェードづくり

拓本を取ってから、和紙でランプシェードを作り貼り付けました。



5月 石器づくり

河原の石をわり、木の柄をつけて石斧を作りました。



9・10月 火おこし道具づくり

きりもみ式道具と火打ちがねから一つを選んで作りました。



6月 土器づくり

粘土から土器を作り、8月に野焼きをしました。



11月 銅鏡レプリカづくり

金属を溶かして型に入れ、冷えたら磨きます。



7月 からむしねじり編みでストラップづくり

からむしの繊維で縄を作り、ストラップを作りました。



12月 実施中! 黒曜石で尖頭器(石器)づくり

先端を尖らせた槍先の形をした石器を鹿角で加工します。



イベント・講演会を実施しました

【講演会】7月29日(土)、「塩田に生きた狩人たち」と題して、市立博物館 長澤有史学芸員による講演会を開催しました。参加者の対象を小学生以上とし、旧石器時代の様子の解説から、石割の実演などもあり、とても分かりやすく田名向原遺跡の価値を幅広い年代の方に普及する機会となりました。

- ・市内旧石器時代遺跡の解説
- ・田名向原遺跡のここがスゴイ!
- ・石器の知識
- ・旧石器ハテナ館の展示解説
- ・黒曜石の石割の実演



旧石器ハテナ館まつり

11月3日(金・祝)、4年ぶりに開催することが出来ました。天候にも恵まれ、多くの皆様にご来場いただき、にぎやかなおまつりになりました。

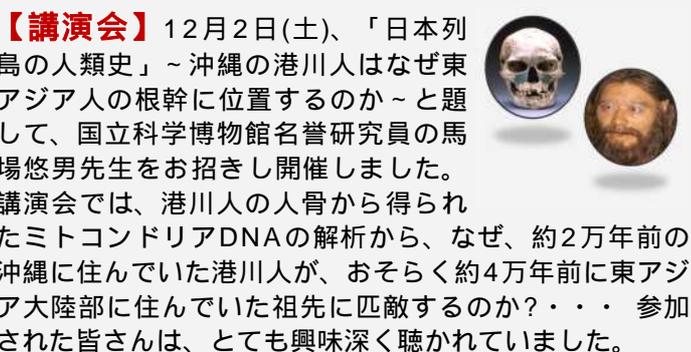
- ・土で作るアクセサリー
- ・昔遊び・弓矢・火おこし
- ・古代服の試着
- ・古代の魚釣り・遺跡解説・クイズラリーなど



10月21日(土)、市立博物館 河尻清和学芸員の指導により、相模川の石で『石図鑑』を作りました。石の種類を学び、「石はどこから来たのか」「どうやってできるのか」、悩んで、学んで、好きな石を沢山並べて、世界に1つのステキな図鑑が完成しました!



【講演会】12月2日(土)、「日本列島の人類史」～沖縄の港川人はなぜ東アジア人の根幹に位置するのか～と題して、国立科学博物館名誉研究員の馬場悠男先生をお招きし開催しました。講演会では、港川人の人骨から得られたミトコンドリアDNAの解析から、なぜ、約2万年前の沖縄に住んでいた港川人が、おそらく約4万年前に東アジア大陸部に住んでいた祖先に匹敵するのか?・・・参加された皆さんは、とても興味深く聴かれていました。



今後のイベントスケジュール(体験教室他)

1月

埴輪づくり

焼かない埴輪粘土で作ります。

2月

ガラスの玉づくり

トンボ玉と勾玉を作ります。

3月

綿布コースターづくり

あんぎん編みでコースターを作ります。

【ミニ展示】2月1日(木)～4月8日(月) 遺跡の宝庫さがみはら～実はあるんだ弥生時代～
 【講演会】3月2日(土)「さがみはらの弥生文化」奈良国立博物館館長 井上洋一 先生